

# さわらび

## 保育所に行ってきました

1月29日(火)の午前中、3年生が家庭科の時間に自分たちで作った遊び道具をもって藤岡保育所に行き、子どもたちと過ごして楽しくいろいろ学んできました。弁当も持参していたので、一緒に昼食を食べて帰校しました。



### 【生徒の感想】

私は久しぶりに保育所に行きました。園児のみんなが元気、私も元気をもらえたような気がしました。おもちゃを作っているときもみんな黙々とCDにペンで色をつけたり、シールをはったりしていてとてもかわいかったです。

私は今回の学習で保育士さんはすごいなと思ったところが、いくつかありました。例えば、私だったら園児が来たらずぐCDを渡してしまうけど、保育士さんたちは「ちょうだいって言うたや」とか「もうろうたら、ありがとうは？」と園児が自分で言うように手助けしているところを見て、すごいなと思いました。

私は保育園は、園児が遊んでいるところというイメージが強かったけど、今回の学習を通して保育園も社会で生きていくために必要な「あいさつ」や「礼儀」を教えてくれているところなんだと思いました。

園児と遊んだり、話したり、スポンをはかせたりできてとても楽しかったです。  
(さくらさん)

## 人権や命をテーマにした絵本の読み聞かせ講演会



1月26日(土)に藤岡小・中で人権教育参観日として、それぞれの学校での公開授業と「人権や命をテーマにした読み聞かせ講演会」を行いました。

講師は、フリーアナウンサーで読み聞かせの活動をしている花房果子さんです。1学期に「こういう内容でやりませんか?」とご相談したところ、「ぜひ、考えてみます。」とのことで実現に至りました。小学校1年生～4年生は小学校で行い、その後中学校に移動して小学校5年生～中学校3年生の2部構成でした。

～読んでいただいた本の一部を紹介します～

○『どんなかんじかなあ』中山千夏/作 和田誠/絵  
「ともだちのまりちゃんは目が見えない。見えないってどんなかんじかなあ。」さりげなく身近で、読み終わると見方・考え方が広がったような……。

○『いのちのまつり ヌチヌグスージ』草場一壽/作 平安座資尚/絵  
自分の命の大切さ。受け継がれてきた尊い命であることを感じます。

○『ふしぎなともだち』たじまゆきひこ/作・絵

鳥の小学校に転校してきたゆうすけ。教室にはいつも教室を出て行ってしまいう閉症のやっくんがいた。やっくんとゆうすけの関わりを通して、「共に生きること」に出会います。



## コミュニケーションと声を出すということ

1月30日(水)、あなたがしあわせになる研究所の松井浩之さんを講師に迎えて、生徒・教員で「コミュニケーションと声を出すということ」というテーマの学習会を行いました。

「間も大事だし、日本語は母音をはっきり言うこともポイントです」という説明をはさんで、「声の筋トレをしよう!」とボイストレーニングもしました。「斜め上10度くらいを見て…お腹から…あと1.2倍出そう」という声をかけてもらいながら取り組みました。最後には、授業開始時よりかなり大きいはっきりした声になっていました。

また、授業の最後に、松井先生から『あいさつ貯金』の話を聞きました。

『あいさつ貯金』とは、あいさつはどちらかが先にするものだが、自分からあいさつしたときには相手の銀行に貯金しているのと同じという考え方です。その貯金がたまるというのは、信頼につながっている。あいさつの繰り返しで信頼関係をつくるのです。

とても充実した1時間でした。あいさつ貯金ためていこう!



## 修学旅行の取組を両校一緒にスタート



1月31日(木)の3、4校時、大用中学校の1、2年生が来校してくれて、合同での修学旅行説明・準備会を行いました。自己紹介の後、大用中の大原先生の説明を

聞いたり、約束事を考えたりグループでの作業をしました。次回は、3月18日(月)に大用中学校に行きます。それまでの間も、旅行のしおりづくりや事前学習などがあります。

また、修学旅行先での防災学習も兼ねて、本校玄関と2年教室で「防災パネル展」を行っています。どうぞいつてもご覧ください。

## 発言・発表してきました!

2月3日(日)の午後、JA会館において「いじめストップ四万十子どもサミット」が行われました。本校からは、生徒会執行部の花奈さんと虎次君が参加して、分科会での話し合いや全体会でのグループ代表としての発表など、がんばってきました。次回の生徒集会で2人から報告があります。

